

事故発生時・緊急時対応マニュアル

株式会社キャンバスゲート

児童発達支援・放課後等デイサービス

多機能事業所 アイユー

1. 事故の発生防止（予防）のための取り組み

(1) 安全な環境を確保するための配慮点等 安全な環境を確保するため、利用者の年齢（発達とそれに伴う危険等）、場所（エリア、トイレ、廊下等）、活動内容（遊具や活動に伴う危険等）に留意し、事故の発生防止に取り組む。

○口に入れると咽頭部や気管が詰まる等窒息の可能性のある大きさ、形状の玩具や教具については、室内におかないことが望ましい。万が一、支援等で必要な場合、職員は利用者から目を放さないようにする。

○誤嚥につながる物を身につけている場合もあり、これらの除去については、保護者に相談を含めた上での対策を講じる。

・食物アレルギー

○食物アレルギーについての防止のため、契約時に確認を行い、職員間で情報の共有を行う。

○活動内容によって、食事を行う場合（施設外療育時やクッキング等）は事前に保護者に食物アレルギーを確認した上で療育にあたる。

(2) 事故の発生防止に関する留意点 以下について留意の上、点検等を実施する。

○事故の発生防止の活動

利用者の特性を十分に理解した上で、事故の発生防止に係る行動の確認や事故に発展する可能性のある問題点を把握し、事故の発生防止に取り組む。

○日常的な点検 施設・事業者はあらかじめ安全点検簿を基に、定期的に点検を行い、その結果に基づいて問題のある箇所の改善を行い、その結果を職員に周知して情報の共有化を図る。

○療育中の安全管理について療育中の安全管理には、施設・事業所の環境調節が不可欠であることから、施設・事業者は随時環境設備に取り組む。

○重大事故の発生防止、予約のための組織的な取り組みについて 重大事故の発生防止、予防については、ヒヤリハット報告の収集及び分析が活用できる場合もあるため、以下の取り組みを行う。

ア 職員は重大事故が発生するリスクがあった場面に関わった場合には、ヒヤリハット報告書を作成し、各管理者に提出する。

イ 管理者部会では、集められたヒヤリハット報告書の中から、重大事故が発生しやすい場面において、重大事故が発生するリスクに対しての要因分析を行い、事故防止対策を講じる。

ウ 管理者は事故防止対策について、職員に周知し、職員は事故防止対策を踏まえて療育に当たる。

(3) 職員の資質の向上

管理者においては、利用者の安全確保に関する研修に参加することを基本とし、全ての職員は救急対応（AED蘇生法等）の実技講習、事故発生時の対処方法を身につける実践的な研修を通じて、資質の向上に努める。

全体ミーティングの際に、事故の生じやすい場所等を共有することで、事故への認識、危険に対する予知能力の向上を図る。

(4) 緊急時対応体制の確認 緊急時の対応体制として、以下のような準備を行う。

○緊急時の役割を決める。

重大緊急時には管理者、もしくは児童発達支援管理責任者が他の職員に指示を出し、迅速に対応ができるようにする。

○緊急時の役割の主なものについては、以下が考えられる。

※緊急時の役割

- ・心肺蘇生、応急処置を行う。(AEDが必要な時は亀岡駅改札内に取りに行く)
- ・救急車を呼ぶ。
- ・病院に同行する。
- ・事故直後、代表理事や事故に遭った利用者の保護者に連絡する。
- ・事故直後、事故に遭った利用者以外の利用者の支援を行う。
- ・事故当日、交代で事故の記録を書く。
- ・事業所全体の状況を把握し、病院に同行している職員など、それぞれの役割の職員に連絡する。
- ・事故当日、必要に応じて、事故に遭った利用者以外の利用者の保護者に事故の概要について説明をする。
- ・翌日以降の療育の実施体制の確認を行う。

(5) 日常に準備しておくこと

○管理者は各職員の緊急連絡網、医療機関・関係機関(市町村、警察、病院等)の一覧、保護者への連絡に関する緊急連絡先を事前整理しておく。

(6) 保護者や地域住民等、関係機関との連携 事故発生時の協力体制や連絡体制を整えらるとともに関係づくりの必要性について日頃から認識しておく。

(7) 利用者や保護者への安全について

○利用者の発達や能力に応じた方法で、利用者自身が安全や危険を認識すること、事故発生時の約束事や行動の仕方について理解できるように努める。

○家庭における保護者の行動や教育により、利用者が安全な生活習慣を身につけることができるよう保護者と連携を図る。

(8) 設備等の安全確保に関するチェックリスト(安全点検簿)

○施設内の設備について、安全点検簿を作成し、定期的にチェックし、その結果に基づいて問題のある箇所の改善を行い、また、職員全体に周知して情報の共有化を図る。

(9) 事故防止のための体制設備

○事故の発生防止は組織で対応することが重要であり、管理者、児童発達支援管理責任者の下、組織的に体制を整備する。

緊急時の役割分担

